令和2年度 戦略研究の総合評価(事後)

■戦略研究 事後評価 (R元年度終了)

| 課 | 担当機関 (研究期間) | 研究評価委員会の評価結果 | | | | | | 総合評価 | |
|---------------------------------|--|--------------|----------------|----|----|--|----|--|--|
| 題名 | | の妥 | 目標 の達 成度 | の可 | 評価 | 意見 | 評価 | 意見 | |
| 素材・加工・流通技術の融合による新たな食の市場創成 | | | | | | | | | |
| | 令品加工研究センター 中央農業試験場 十勝農業試験場 北見農業試験場 花・野菜技術センター 工業試験場 中央水産試験場 釧路水産試験場 林産試験場 (H27-R1) | а | а | b | Α | レアフルをはじめとする 6 つのテーマは一次産品の高付加価値 化により新たな市場を創る可能 性があるので、本研究成果の広 報に努め、事業化を一層支援 していくこと。 | А | 本研究成果を広く発信し、事 業化を一層支援していくこと。 | |
| 農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築 | | | | | | | | | |
| | ○十勝農業試験場 中央農業試験場 酪農試験場 釧路水産試験場 さけます・内水面水産試験場 林業試験場 工業試験場 地質研究所(現:エネルギー・環境・地質研究所) 北方建築総合研究所 (H27-R1) | b | b | b | В | 本研究は道総研の総合力を生かした成果であるが、農村集落の多様性を考慮して対象地域を選定し開発した手法の有効性を検証するとともに、引き続き成果発信方法の工夫・周知に努め、地方自治体の施策立案への活用を図ること。 | В | 農村集落の多様性を考慮して対象地域を選定し開発した手法の有効性を検証するとともに、引き続き成果発信方法の工夫を図り周知を進め、地方自治体の施策立案の取り組みを支援すること。 | |